



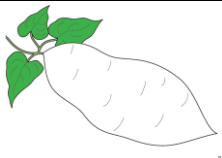
3 歳児クラス 1 1 月 第 1 回 「ねずみのいもほり」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	・講：子ども達と♪手遊び「やきいもグーチーパー」を楽しんだり「お芋掘りしたことある人？」などと問い掛け、皆で芋のツルを引っ張る真似をするなど「芋掘り（サツマイモ）」に興味・期待を持たせてからお話を始める。	教材 ★絵本 ★iPad（シアターセット）	
	① 7つ子のネズミ達の動きが生き生きと表現できるように擬音や声のトーンを工夫する。 ② 絵本の隅々に描かれた「秋」の自然にも注目し、＜活動①＞の季節に関しての課題を意識しながら読み進める。 ③ お話の始めの7つ子ネズミの場面では、1匹ずつ数を数えるなど、数も意識しながら進行する。	保育士の役割 ・子ども達と一緒に なってお話を 楽しむ	

がくしゅうタイム

活動①		ねらい	生活 (季節)	季節に興味を持ち、カードに描かれたものの季節を確認することができる	
設問	カードに描かれた絵を見て季節を答えましょう				教材 提示用季節カード 6 種
つなぎ	・ 講：「ネズミさん達のお芋掘り楽しそうだったね」 ・ 保：「ネズミさん達から季節のお届け物です」カードの入った封筒持って登場。				
活動内容	・ 講：「季節ってなんだろう？チャレンジする人！」意欲を引き出し、期待感を持ってカード提示。カードに描かれたものの名称を1つ1つ全員で確認する。 「芋掘りと同じ季節はどれでしょう？だって！芋掘りの季節は？」と季節に興味を持たせながら確認し、理解を深めていく。 ※季節には春夏秋冬があることを伝え「すいか…暑い夏に食べたね。雪だるま…冬に白い雪が降ったら作れるね」など、その季節の特徴を解り易く、興味が持てるように伝えながら確認していく。 ・ 保：知識のある子や、発言力のある子が活動の中心になりがちですが、興味や理解が及ばない子への刺激が大切です。横について言葉を添えてあげましょう。 ・ 講：それぞれのカードの季節を確認した後、「問題です。芋ほりの季節と同じ＜秋＞の季節のものはどれだったのでしょうか？」（正解：どんぐり・柿・コスモス）とクイズ形式で再確認して理解を深める。 ＝保：講師と子ども達が確認している間に子ども達に気付かれない様に部屋の隅に＜活動②＞で使用する紙テープ付きのプリントを芋掘り模造紙の下に隠して準備しておく＝				保育士の役割 ・ カードの入った封筒提示 ・ 理解できない子のフォロー
活動②		ねらい	巧緻性	課題を理解して指先を使って折り紙をちぎり、プリントに貼っていくことができる	
設問	指先を使って折り紙をちぎり、お芋に貼って大きなお芋を完成させましょう				教材 P 1 P 1 用折り紙 1 枚（紫） 紙テープ 1 人 1 本 ※事前に芋ほり用に 1 人 1 本 適当な長さに切りプリント に貼って準備 提示用セット（プリント・折り紙・紙テープ） ※提示用に完成させて準備する 芋掘り用模造紙 4 人に 1 枚 ★指のり ★お手拭 ★クレヨン
つなぎ	・ 保：「先生！みんなでネズミさん達みたいに芋掘しようよ！」				
活動内容	・ 講：「良いね！でもここにはお芋畑はないよ」 ・ 保：「向こうにあるよ！」と芋プリントを模造紙で隠した芋畑を指差し提示。 ・ 講：「わ！ツルがたくさん…大きなお芋が隠れているのかな？」と子ども達を誘導して芋畑を囲む。 ※スペース的に無理な園は畳んだ模造紙にプリントを挟んで準備し、その場で子ども達の前方に、模造紙の下にプリントが隠れるように広げて提示しても良い。ツルは模造紙の周りに子ども達が引っ張りやすい様に出しておく。 「大きなお芋が隠れているかな！」期待を持たせてつるを引き「よいっしょ！すっぽーん！」と大きなリアクションと共に提示用の芋を引っ張り抜く。「抜けたよ！みんなも抜いてみよう！」と誘い掛け、子ども達にも抜かせていく。 ・ 子：ツルを引っ張り芋（プリント）を手に席に戻る。 ・ 講：プリントの芋を子ども達と確認・称賛し「大きな芋？でも何か変だね？先生のところとどこが違う」子ども達に問いかけ色が無いことに気付かせ「お芋は何色？」色が				

	<p>「紫」であることを確認。「良いこと考えた！」と折り紙提示。</p> <p>＜見本行動＞</p> <p>①折り紙を左右の指先で摘まんで前後に引き割くように適当な大きさにちぎり、皿に入れていく。（紙の大きさはクラスの状況に合わせて「このくらい」と指定して見せる。大体1/16くらいの大きさで良い。）</p> <p>②紙がちぎれたら、のりを使ってプリントの芋に貼っていく。</p> <p>※プリントの芋部分にのりを2～3本の指で塗り広げて貼っていく。指先に付けるのりの量、薄く伸ばしていくところ、お手拭の使い方まで見本でしっかり見せる。</p> <p>・講：「みんなのお芋もきれいな紫色にしてみよう！」と誘いかけ意欲を引き出す。</p> <p>・保：「折り紙はおはじき5個と交換です。」※5個入った皿を選ぶ。</p> <p>数にチャレンジ ・子：2枚のお皿を比較して「5個」入った皿を選び折り紙と交換する。</p> <p>・子：講師の見本行動を思い出して制作を開始。折り紙をちぎり貼っていく。</p> <p>※早く貼れた子はクレヨンで周りに絵を描く。絵本を思い出して「秋」を意識しながら描けるとなお良い。</p> <p>・講：完成したお芋を見せっこして称賛。「よいしょ！よいしょ！」芋ほりごっこや焼き芋をイメージして食べてみたり、また、のりが乾くまで壁に貼ったり意欲ロープに挟むなどしても良い。称賛して終了する。</p>	おはじき 皿
		<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「芋掘りしよう」と誘い掛ける ・子ども達を芋畑に誘導。安全確保。 ・おはじきと交換に折り紙を渡す ・のり、お手拭き配布 ・制作フォロー ・机の上の不要なものを速やかに片付ける（のり、手拭、皿） ・称賛

数チャレ		数	「5個」の数の確認ができる	教材
設 問	活動内 容	「5個」のおはじきが入ったお皿を選んで折り紙と交換しましょう		
		※＜活動②＞の中で実施します。		保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	参加型で読み進めることが出来たか
活動① 生活(季節)	名称の確認・季節の確認を正しく行えたか
活動② 巧緻性	「ちぎる」楽しさを体験させることが出来たか
	指のりの正しい使い方の指導を行い、嫌がらずに使わせることが出来たか
数チャレ	個別指導も行ったか（出来ない子対応）

楽習タイム♪

*** テーマ・生活(季節) ***

秋の物見つけ

＜楽しみ方＞

- ・園までの行き帰り「秋のもののいくつ見つかるかな？」と出発してみましょう。
- ・足元の草や花、紅葉した木の葉、どんぐりなどの木の実、空の雲(うろこ雲・羊雲・すじ雲は代表的な雲です)、秋の風、長くなった影、等々。自然に親しみながら、自由な視点で「秋だなあ」と思うものの発見したり、集めたりして楽しみましょう。

※下の写真は集めた落ち葉を使って制作した作品の一例です。一つの作品に残して飾るのもおススメです。

秋の葉っぱを貼って作ったんだ！



大人も一緒になって「秋」を感じながら見つけっこを楽しんでみてくださいね。



今月のえかきリズム

*** くるま ***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

